



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 関西スーパーマーケット
 コード番号 9919 URL <http://www.kansaisuper.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 耕治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 青木 保
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 072-772-0341
 平成27年11月17日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	59,850	2.2	503	—	793	—	526	—
27年3月期第2四半期	58,586	△1.2	△775	—	△486	—	△381	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 475百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △287百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	18.63	—
27年3月期第2四半期	△13.50	—

(注) 営業収益は売上高に営業収入を加えたものです。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	50,242	27,004	53.7
27年3月期	51,260	26,756	52.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 27,004百万円 27年3月期 26,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
28年3月期	—	8.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,260	2.0	1,610	—	2,030	700.8	1,310	—	46.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	28,740,954 株	27年3月期	28,740,954 株
28年3月期2Q	496,576 株	27年3月期	494,110 株
28年3月期2Q	28,245,200 株	27年3月期2Q	28,246,541 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

(参考)個別業績予想

平成28年3月期の個別業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,350	1.9	1,850	—	1,320	—	46.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景とした企業収益の改善が見られ、雇用環境の改善や賃上げなどにより個人消費は持ち直しつつあります。加えて訪日外国人による国内消費増の波及効果が見られるなど、景気は緩やかな回復傾向が継続いたしました。

小売業界におきましては、円安を背景として原材料価格が高騰し、生活必需品や社会保障費用の負担増による生活防衛意識が高まり、業種・業態を越えた競争が激化するなど、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増していくものと考えられます。

このような状況の中、当社グループは『お客様目線の店づくり』を目指し、改善の柱として「商品力強化」「販売力強化」「競争力強化」「基本の徹底」「教育」「コスト意識向上」の6つの取組み課題を掲げ、各施策を実施しております。これらの取組み課題達成のため、平成28年3月期を初年度とする3ヵ年中期経営戦略として「営業方針」「教育方針」「経営管理方針」の3つの方針と「成長戦略」「新規事業戦略」の2つの戦略を策定し、お客様目線の品質、お客様目線の価格、お客様目線の買物環境(接客)を重点施策として、食を通じてお客様の健全で健康な生活を支援するため、『当社自慢の品』の開発・育成をはじめとし、商品一品ごとの「味・鮮度・品質・見栄え・容量・価格・豊富な品揃え・提供方法」等の強化や環境保全活動・食育活動などの社会貢献活動に積極的に参画するなど、地域コミュニティの発展にも取り組んでおります。

また、お客様の来店頻度を高めることを目的として、昨年10月に立ち上げた「おいしい惣菜商品づくり推進プロジェクト」と「生鮮の惣菜化・簡便商品MD定着化プロジェクト」の結果を基に10店舗で惣菜売場を中心に小改装を実施いたしました。さらに、今年4月には「現場力向上プロジェクト」を立ち上げ、作業効率の改善、作業単位の見直し、鮮度管理の徹底等に取り組むとともに、上記6つの取組み課題を細分化し、短期間で問題解決を図るため、1チーム数人で構成する58のワーキングチームを組成し活動しております。

業績につきましては、夏場の天候不順がありましたが、毎月月初にお買い得商品や企画を展開する「関西スーパーウィーク」をはじめとする販売促進の各施策により、当社グループの当第2四半期連結累計期間の営業収益は598億50百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益は5億3百万円(前年同期は営業損失7億75百万円)、経常利益は7億93百万円(前年同期は経常損失4億86百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億26百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億81百万円)となりました。

なお、昨今の社会的な節電要請を勘案し、電力監視システムの運用等による消費電力量の抑制に取り組むとともに、従業員全員参加による職場と家庭での節電キャンペーンを、6月から9月の4ヵ月間、5期連続で実施いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は502億42百万円となり、前連結会計年度末比10億17百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金が1億53百万円、売掛金が1億19百万円、流動資産のその他(未収入金)が7億26百万円減少したことです。

なお、純資産は270億4百万円となり、前連結会計年度末比2億47百万円の増加となりました。

その主な要因は、利益剰余金が2億99百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が29百万円減少したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上記に記載の最近の業績動向を踏まえ、平成27年4月30日に公表いたしました通期の連結業績予想は修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,781,917	3,628,062
売掛金	1,125,090	1,005,211
有価証券	49,939	—
商品	2,795,980	2,709,145
貯蔵品	37,350	43,158
その他	2,935,638	2,886,362
流動資産合計	10,725,917	10,271,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,387,370	7,191,725
土地	18,797,300	18,797,300
その他(純額)	1,363,807	1,682,370
有形固定資産合計	27,548,478	27,671,396
無形固定資産	248,472	235,504
投資その他の資産		
差入保証金	6,444,634	6,300,243
退職給付に係る資産	1,325,787	1,343,801
その他	4,966,719	4,419,588
投資その他の資産合計	12,737,141	12,063,633
固定資産合計	40,534,092	39,970,534
資産合計	51,260,010	50,242,474

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,162,791	6,882,070
短期借入金	1,100,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,752,000	1,932,000
未払法人税等	173,322	239,291
賞与引当金	801,783	793,034
その他	3,918,285	3,787,397
流動負債合計	14,908,182	14,733,792
固定負債		
長期借入金	5,398,000	4,442,000
退職給付に係る負債	782,644	783,211
資産除去債務	160,373	161,866
その他	3,254,210	3,117,534
固定負債合計	9,595,227	8,504,611
負債合計	24,503,410	23,238,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,277,333	7,277,333
資本剰余金	8,321,237	8,321,237
利益剰余金	10,536,596	10,836,537
自己株式	△305,864	△307,689
株主資本合計	25,829,304	26,127,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	351,579	321,942
退職給付に係る調整累計額	575,716	554,707
その他の包括利益累計額合計	927,295	876,650
純資産合計	26,756,599	27,004,069
負債純資産合計	51,260,010	50,242,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	57,525,570	58,848,833
売上原価	44,353,895	44,948,389
売上総利益	13,171,674	13,900,443
営業収入	1,060,877	1,001,968
営業総利益	14,232,552	14,902,411
販売費及び一般管理費	15,007,573	14,399,142
営業利益又は営業損失(△)	△775,020	503,269
営業外収益		
受取利息	5,224	10,116
受取配当金	37,550	23,325
持分法による投資利益	98,105	85,593
受取手数料	78,189	79,880
その他	130,272	147,618
営業外収益合計	349,341	346,534
営業外費用		
支払利息	48,973	35,236
その他	12,307	21,133
営業外費用合計	61,281	56,370
経常利益又は経常損失(△)	△486,960	793,433
特別損失		
固定資産除売却損	6,067	1,435
投資有価証券売却損	51,851	—
特別損失合計	57,918	1,435
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△544,878	791,998
法人税、住民税及び事業税	151,552	176,993
法人税等調整額	△315,221	88,828
法人税等合計	△163,668	265,821
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△381,210	526,176
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△381,210	526,176

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△381,210	526,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,728	△56,228
退職給付に係る調整額	24,193	△21,008
持分法適用会社に対する持分相当額	△815	26,591
その他の包括利益合計	94,107	△50,644
四半期包括利益	△287,102	475,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△287,102	475,532
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。